



新年あけましておめでとうございます。日頃から当ステーションの活動にご協力いただき誠にありがとうございます。令和初のお正月、雪は少なくとも寒さは厳しいので、体調管理に注意して過ごしましょう。

皆さんは「アドバンス・ケア・プランニング」または「人生会議」という言葉を聞いたことがありますか？

大きな病気やケガをして命の危険が迫った状態、人生の最終段階を迎えた時、約70%の方が医療・ケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることが出来なくなると言われています。

自らが希望する医療・ケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング」通称「人生会議」と呼びます。



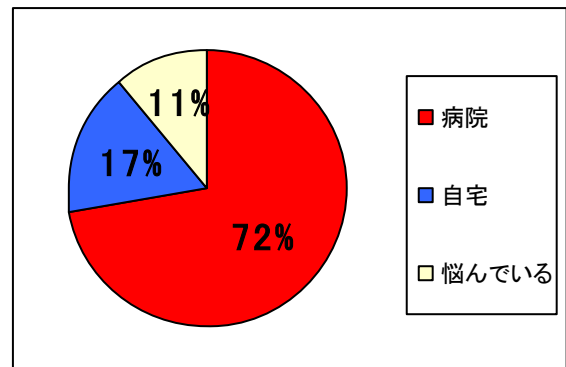
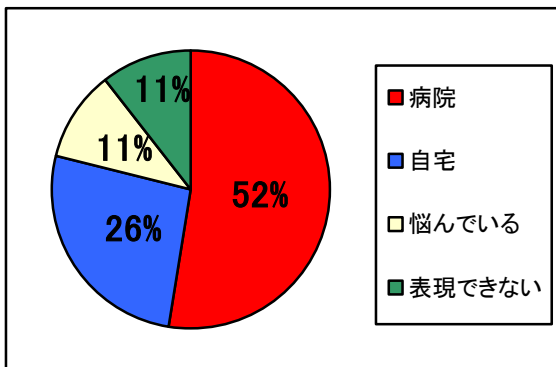
人生の最終段階を迎えた時、病院では患者及び家族等と医師や医療従事者が、患者にとって最善の医療とケアを提供するため、人生の最期をどこで迎えたいか、それまでの間、どのようなケアを受けたいか、希望を伺いながら話し合いが行われています。

当ステーションでは、過去3年間で48件の自宅看取り(施設含む)を経験しております。自宅で利用者に死期が迫っていると感じた時、どうすれば良いか判断できずパニックになる家族も少なからずいらっしゃいます。人生の最期をどのようにしたいか、元気な時から話し合う「人生会議」のような話し合いは大切なことだと思い、昨年2月～3月に、「看取りに対する思い」という調査をさせていただきましたので、その結果をご覧ください。

「人生の最期を迎えたいと思う場所」

本人(19名)

家族(18名)



(自由記載内容と、結果に対する感想は、裏面をご覧ください)

<自由記載(一部抜粋)>

◎本人

(病院希望) ・いつも看護師がいるので安心

◎家族

(病院希望) ・家も良いが、介護者の体調によって病院
・急変や苦しくなったりしたら入院させたい
・本人が望むところで(本人は病院希望)

(自宅希望) ・自宅が良いと思っている
・なるべく自宅、動けなくなったら施設がいい



<感想>

自宅看取りを希望する方が、思ったより少ない印象でしたが、病院・自宅どちらにしても、安心して穏やかに過ごせる場所を選んでいる、と感じました。「最後まで自宅で介護したいと思っていたが、やっぱり入院させたい」など、途中で気持ちが変わる方もいらっしゃいます。その時々のお思いに寄り添って対応し、できるだけ希望する場所で最期を迎えることができるよう、支援していきたいと思っております。

今年も、2月～3月に、「看取りに対する思い」と、例年どおり「訪問看護についてのアンケート」を予定しています。ご協力よろしくお願ひいたします。

*** ケアマネージャーの皆様へ ***

湖東訪問看護ステーションの空き状況

看護師の訪問は、火・木・金曜日に、
若干の空きがあります。時間などご相談下さい。

理学療法士の訪問は、現在空きがない状態です。
ご了承下さい。



今年もどうぞよろしく
お願ひ致します。

湖東訪問看護ステーション 電話 018-855-4102
携帯 090-7669-7352

気軽にご相談ください

